

令和2年度

施設評価調書

施設の名称……学校給食センター

所管担当課……教育委員会学校教育課

令和2年7月

令和2年度

施設名(愛称名)	下田市立学校給食センター
----------	--------------

番号	99
----	----

設置目的の達成度

1 計画(Plan)と実績(Do)

設置目的	これまで下田市が運営してきた学校給食施設については、設置から30年以上が経過し、施設自体の老朽化が進んでいた。また、平成8年に起きたO-157食中毒を機に、学校給食の衛生管理は年々高度化され、もはや改修では対応できないレベルとなっており、さらに下田市においても少子高齢化の現状は著しく、市内の児童・生徒の減少も一途をたどっていることから、既存の4施設を統合し、新たな給食センターを建設した。					
運営事業名	H30年度実績値	R1年度目標値	R1年度実績値	対前年比	目標達成率	評価
学校給食管理運営事業	607	652	624	102.8%	95.7%	A
設置目的に対する総合評価						
目的達成度の評価基準	目標値：利用単位当たりの経費(1食当たりの経費) 実績値：利用単位当たりの経費(1食当たりの経費) 評価A=目標達成率90%以上、B=同70%以上、C=同50%以上、D=同30%以上 E=同30%未満					

2 現状分析(Check)

運営事業の意義と現状	学校給食法、食育基本法に基づき安心して安全な給食を提供し、児童・生徒の心身の健全な発達に資し、かつ児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものとなっている。学校給食及び学校給食を活用した食に関する指導・学校給食の普及及び学校における食育の推進を図っている。
上記の原因	平成30年度より学校給食費の公会計化により11節に賄材料費81,678,000円を予算計上。

3 次年度以降への改善点(Action)

具体的な改善方策	消費税増税分による給食の値上げを検討する。		
R2年度運営事業と目標値	運営事業名	R2年度目標値	備考
	学校給食管理運営事業	761	利用単位当たりの経費(1食当たりの経費)

※参考 前年度までの運営事業の実績値と評価

運営事業名	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
総合評価		A	A	A
学校給食管理運営事業		A	A	A

令和2年度	施設名(愛称名)	下田市立学校給食センター	番号	99
-------	----------	--------------	----	----

効 率 性

1 計画(Plan)と実績(Do)

効率性指標		H30年実績値	R1年度目標値	R1年度実績値	対前年比	目標達成率
①利用単位 当たり経費	A 施設総利用者数等 (食数)	272,956	263,7000	246,289	90.2%	93.4%
	B 年間経費 (除く収入)	165,727,926	171,944,000	153,758,196	92.8%	89.4%
	B/A (円/食)	607	652	624	102.8%	95.7%
②光熱水費 (円)		15,401,649	18,900,000	11,825,275	76.8%	62.6%
③消耗品費 (円)		1,490,619	1,500,000	993,674	66.7%	66.2%
効率性指標の考え方等		年間の給食提供食数より算出。 小学校： 180回 中学校： 180回 ※令和2年3月は新型コロナウイルスの感染予防のため、給食の提供なし。給食費は11期(小学校4,200円、中学校5,000円)の減額を行った。				

2 現状分析(Check)

効 率 性 の 現 状	
----------------	--

3 次年度以降への改善点(Action)

	消費税増税分による給食の値上げを検討する。		
R1年度効率性 の目標値	用単位当たり経費 B/A	761	(1食当たりの経費)
	②光熱水費	16,230,000	
	③消耗品費	1,275,000	

※参考 前年度までの効率性指標

効率性指標		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
①利用単位当たり 経費	目標値		87,887,000	170,955,000	171,944,000
	A実績値		277,289	272,956	246,289
	B実績値		93,914,530	165,727,926	153,758,196
	B/A		339	607	624
	対前年比			179.1%	102.8%
	目標達成率			97.6%	95.7%
②光熱水費	目標値(予算)	11,011,914	18,300,000	17,100,000	18,900,000
	実績値(決算)	9,854,678	15,355,870	15,401,649	11,825,275
	対前年比	—	155.8%	100%	77%
	目標達成率	89.5%	83.9%	90.1%	62.6%
③消耗品費	目標値(予算)	1,469,141	1,566,000	1,500,000	11,825,275
	実績値(決算)	1,468,885	1,558,359	1,490,619	993,674
	対前年比	—	106.1%	95.7%	66.7%
	目標達成率	100%	99.5%	99.4%	66.2%

令和2年度

施設名（愛称名）	下田市立学校給食センター
----------	--------------

番号	99
----	----

4 その他の指標

	区 分	説 明	単 位	H29 年度	H30 年度	R1 年度
受益者負担 の適正性 ※調理にかかる 費用は公費負担 ※食材費は全額 保護者負担	①使用料原価	徴収分の年間経費 (食材費)	円	76,652,170 円	77,806,990 円	71,264,077 円
	② 稼動割原価率	年間経費を年間収入で 賄えない比率	%	%	%	%
	③ 1 m ² 1 時間 適正使用料	① ②	円	円	円	円
	④ 現行 1 m ² 1 時間使用料 の平均					
	⑤適正化計画					

運営に掛か る税負担 (市民負担)	年度		H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度 (予算)
	人口（4月1日：人）		22,432 人	21,937 人	21,492 人	21,080 人
	人口 1 人あ たり (円/人)	運営経費（収入除く）	3,833	7,555	7,154	7,929
年間総経費		3,833	7,555	7,154	7,929	

令和2年度	施設名(愛称名)	下田市立学校給食センター	番号	99
-------	----------	--------------	----	----

利用者満足度調査

実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	調査の方法	アンケート・意見交換	R1年度調査数	1件
○ 学校給食運営協議会での試食会にて実施					
1 調査結果					
設問	回答種類	H30年度回答数(11件)		R1年度回答数(9件)	
給食の分量について	1:少ない 2:普通 3:多い	1:9% 2:91% 3:0%	回答なし:0%	1:33% 2:67% 3:0%	回答なし:0%
味付けについて	1:薄い 2:普通 3:濃い	1:9% 2:91% 3:0%	回答なし:0%	1:0% 2:100% 3:0%	回答なし:0%
彩りについて	1:悪い 2:普通 3:良い	1:0% 2:45% 3:55%	回答なし:0%	1:22% 2:22% 3:67%	回答なし:0%
全体について	1:悪い 2:普通 3:良い	1:0% 2:9% 3:91%	回答なし:0%	1:0% 2:50% 3:50%	回答なし:0%
給食だより等を家庭でもご覧になりますか	1:見ない 2:見る 3:よく見る	1:9% 2:55% 3:36%	回答なし:0%	1:22% 2:33% 3:45%	回答なし:0%
アンケートの記入欄： 学校給食運営審議会試食会での意見交換より <ul style="list-style-type: none"> ・今日は中学生の分量ということでしたが量は足りているのでしょうか。朝部をやったからの昼食なので少ない気がしました。肉と魚が一度に摂れてよかった。スープが美味しかった。 ・手間がかかる献立が多くなり、調理の方に感謝の気持ちも大きくなります。残食が小学校で多くても、中学生になると大分少なくなっており、先生たちも喜んでます。 ・様々な課題をクリアして作られた食事だと思います。 ・色合いが悪く、美味しそうに見えない。白米は大量に炊くならもっと美味しいのではないかな。 ・野菜や汁物の中にたくさんの種類の野菜が使われていてありがたいです。 ・給食費の金額は適正でしょうか。切り詰めているのであれば値上げを検討しても良いのでは。 ・小松菜の煮びたしは野菜不足を補うためにももう少しほしい。 ・ふるさと給食週間の地産地消がとても良い 					
2 調査結果から読み取れること					
試食会等を通じて、学校給食の意義やねらいを伝えていくことや保護者等から意見をもらうことで、理解を得ることができ、今後の給食運営の参考にすることができる。					
3 次年度以降への改善点					
引き続き安全安心な給食提供を行うために、学校給食衛生管理基準等を遵守した運営をしていかなければならない。					

施設修繕計画及び備品購入計画

破損年度	全ての破損した箇所・備品名	経費見積	修繕・買換等 予定年度	備考(修繕済年度等)
※今後想定される維持管理事項 長寿命化計画、計画的な施設修繕及び備品購入等を実施しなければならない				

令和2年度

施設名（愛称名） 下田市立学校給食センター

番号 99

管理運営上のその他評価項目

<p>当該施設の必要性 廃止、休止等の可能性 施設の設置目的変更の可能性</p>	<p>成長期の児童・生徒への給食提供は、望ましい食習慣・食の重要性を学ぶための教育の一環であるため、施設の設置は必要である。 衛生管理基準は、文部科学省の基準に示されたものに従い、汚染区域・非汚染区域の区分がされており、ドライシステムにより適切な衛生管理ができる設備となっている。 平成28年9月より運営開始。</p>
<p>民間による管理運営の可能性 今後の管理運営主体の見込み 行政関与の妥当性</p>	<p>現施設において、調理・配送を民間委託している。大量調理のノウハウや文部科学省の衛生管理基準に基づいた衛生管理ができる民間業者と契約締結していく。</p>
<p>施設の管理運営と経費の妥当性</p>	<p>学校給食法において食材費は保護者、施設経費は行政と負担区分が明確化されている</p>
<p>施設の性質や実費経費からみた受益者負担の妥当性</p>	<p>同上</p>
<p>その他の管理運営上の課題</p>	
<p>【参考】 市内や賀茂郡内の類似施設の管理運営状況等</p>	<p>賀茂管内の学校給食施設については南伊豆町が民間委託、その他の自治体は直営方式。近隣では伊東市・伊豆市・伊豆の国市・三島市等では、調理から配送までを民間委託。</p>

令和元年度 実施運営事業内容

運営事業名	事業内容	次年度に向けての改善事項
下田市ふるさと給食推進事業	金目鯛等の静岡県産の食材を使った学校給食の提供	静岡県産食材の必要量の確保、調達について

令和2年度

施設名(愛称名) 下田市立学校給食センター

番号 99

施設の概要

1 施設名(愛称名)	下田市立学校給食センター		2 担当課担当係	学校教育課 学校教育係				
3 所在地	下田市須崎 1782 番地の 1		4 設置年月	平成 28 年 3 月 25 日開設				
5 総合計画の位置付け	Ⅱ. 人が輝くまちづくり		未来の人づくり		学校教育			
	基本目標		自分のまちや学校、自分自身に誇りのもてる「未来の人づくり」					
	基本目標を実現するための施策		項目 共同調理場整備事業		内容 学校給食センター統合新築			
6 設置目的	児童・生徒に対し、安全な給食提供の実施。食を通じた教育の一環であり、食事の重要性について理解を導くこと。							
7 設置根拠	下田市立学校給食センター設置条例							
8 施設の概要	施設の概要		平成 28 年 3 月竣工 建築面積 1,077.66 m ² (1 階 : 949.21 m ² 、2 階 : 128.45 m ²) 鉄骨造一部 2 階建					
			調理能力 1,700 食/回 調理方式 ドライシステム 配送方式 コンテナ配送方式					
	実施事業の概要		令和 2 年度 (6 月の 1 日あたり平均提供食数) 小学校計 920 食 中学校計 489 食 特別支援学校 36 食 合計 : 1,445 食/日					
	料金体系	料金区分	学校給食費 ・平成 21 年 3 月改定 小学校 月額 4,200 円 中学校 月額 5,000 円 ・平成 30 年度より公会計化					
			主な料金	種別	単位	昼	夜	昼夜
	減免内容							
		利用料金制度		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				
	施設運営方法	<input type="checkbox"/> 直接運営						
<input type="checkbox"/> 指定管理者制度 →		指定管理者						
<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 →		委託内容		調理・配送				
直接従事職員	市費管理栄養士 : 1 名 県費栄養教諭 : 1 名 臨時事務職員 : 1 名							
9 市内の類似施設	下田市所有							
	民間所有							
10 取得費等	取得費及び財源内訳 (円)		平成 29 年度末残高 (円)		(備考)			
	土地取得費	12,127,850	土地残高					

令和2年度

施設名(愛称名)	下田市立学校給食センター
----------	--------------

番号	99
----	----

の情報 (単位:円)	建物取得費	871,937,700	建物減価償却後残高	815,683,656	減価償却の方法 ・ 定額法 ・ 残存価 1円 ・ 新設翌年度から償却 ・ 耐用年数 31年		
	財源内訳						
	国・県支出金	89,457,000					
	市債	766,500,000	市債残高	766,500,000			
	一般財源	6,319,300					
	寄附金等	0					
物品(1円以上)	32,313,768	物品減価償却後残高	19,388,260				
11 年間経費 等推移 (単位:円)	区 分		H29年度決算	H30年度決算	R1年度決算	R2年度予算	
	収入	学校給食費		74,970,450	57,456,200	73,345,000	
		伊豆下田分校負担金	2,768,403	2,950,708	2,625,385	2,400,000	
		収入合計	2,768,403	77,921,158	60,081,585	75,745,000	
	支出	1節 報酬				1,686,000	
		2節 給与	0	0	0	0	
		3節 職員手当等	0	0	0	0	
		4節 共済費	0	0	0	*/0	
		5節 賃金	1,970,770	1,985,100	2,036,310	0	
		7節 報償費	0	16,000	16,000	72,000	
		8節 旅費	94,331	64,903	74,637	308,000	
		10節 需用費	18,259,168	96,974,131	85,263,779	97,647,000	
		11節 役務費	952,593	2,059,269	2,199,896	2,706,000	
		12節 委託料	69,706,964	63,097,243	63,732,673	64,478,000	
		13節 使用量及び賃借料		72,360	84,121	90,000	
		14節 工事請負費	505,440	1,281,960	0	0	
		17節 備品購入費	371,304	93,960	260,680	120,000	
		18節 負担金補助及び交付金	2,002,360	38,000	38,500	38,000	
	26節 公課費	51,600	45,000	51,600	50,000		
	支出合計	93,914,530	165,727,926	153,758,196	165,754,000		
	減価償却費		28,127,022円	28,127,022円	28,127,022円	28,127,022円	
	市債利子		1,568,410円	1,559,806円	1,529,052円	1,431,409円	
	職員人件費		4,443,006円	3,817,314円	721,134円	734,468円	
下田市負担年間総経費		128,052,968円	199,232,068円	184,135,404円	196,046,899円		
備考	平成28年度は2学期から稼働。 平成30年度より学校給食費の公会計化により11節に賄材料費81,678,000円を予算計上。						
12 施設利用状況等の推移	利用 状況	年度 基準月1日平均	H29年5月	H30年5月	R1年5月	R2年6月	
		利用者数	小学校	973人	928人	973人	920人
			中学校	515人	502人	515人	489人
			特別支援学校	39人	35人	39人	36人
	合計	1,527人	1,465人	1,527人	1,445人		
	参考:利用単位当たり市負担額	83,589円/人	135,995円/人	120,586円/人	135,673円/人		
	算出方法:11欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数						
休日	祝祭日、土日、夏季、冬季、春季休み						
勤務時間	市費管理栄養士:7:30~16:15 県費栄養教諭:8:00~16:30 臨時事務職員:8:30~16:30						

(参考資料)